

令和4年（ワ）第30623号 損害賠償請求事件

原告 桜井康統

被告 株式会社三田ホールディング 外1名

被告ら第1準備書面

令和5（2023）年5月15日

東京地方裁判所民事第43部合B6係 御中

被告ら訴訟代理人 弁護士

弁護士

本準備書面においては、原告第1準備書面について必要な範囲で、被告らの主張反論を述べる。

第1 原告の録画の提出により明らかになった事実

1 原告による録画の提出

原告は、本件に関連した録画を、最初に2本、その後更に1本、teamsにアップロードした。これを被告ら側より、USBに保存の上で提出したのが、乙4の1ないし3の録画データであり、その反訳が乙5の1ないし3である。最後に提出された録画データが時系列としては三本の録画のうち、時期的に最初のものと思われるため、被告は録画を時系列順に並べ変えて提出した。

これにより、原告と被告らから被告ホテル従業員とのやりとりの一部が明らかとなった。

なお、原告は訴状7頁23～25行目において、本件クラブラウン

ジの外に移動した後に「以降の会話を」iPhoneで録音したと述べていたが、その前の時点である、クラブラウンジ内でも録画をしており、先に teams にアップロードした2本録画（乙4の2及び乙4の3として被告ら側より提出）より後になって、原告は teams にアップロードした（乙4の1として被告ら側より提出）。原告が他にも録画を保持しているのであれば、事案の解明のため、全て提出されることを求める。

2 被告らは宿泊拒否をしていない

（1） 宿泊拒否とは

宿泊拒否とは、①宿泊者に宿泊意思があるにもかかわらず、②宿泊施設が当該意思に反して、宿泊を拒否する旨の意思の表明を行い、③宿泊施設の意思に従わせることが必要であるところ、被告らは、原告に対し、宿泊拒否を行っていない。以下、詳細を述べる。

（2） 被告■■■■の発言について

ア 被告■■■■は、原告に対し宿泊拒否をする旨の意思の表明をしていない。つまり②の要件を欠いている。

イ 被告■■■■は、原告との会話の中で、「本日お帰りください。」との言葉を述べていると聞き取れる箇所がある（乙5の1 6頁32行目）。

しかしながら、会話全体を見ると、被告■■■■は宿泊拒否をしていないことは明らかである。

まず、被告■■■■が「本日お帰りください。」との発言に対して、原告は「宿泊拒否をするってことですか。」と質問しているが、これに対して、被告■■■■は肯定することなく、「一緒に話しましょうか。」と述べている（乙5の1 7頁3行）。

また、この会話よりも後の時点での会話において、原告自身が宿泊

拒否を被告■■■■からされていないことを明言している。「宿泊拒否するんですかって聞いたら、答えずに。宿泊拒否するのかどうかを聞いてるんですよ。」(乙5の3 2頁6～7行目)「そう。だから、宿泊拒否っていうのはホテル側から明確に言わないと。宿泊拒否するっていうことを。そしたら、僕はそれを法的問題にするかどうかを、この後検討するんで。」(乙5の3 2頁29～31行目)と述べており、この時点に至るまで被告らは宿泊拒否をしていないことを原告も認めているのである。

会話全体から、被告■■■■は一貫して原告に対して低姿勢かつ謝罪を繰り返しており、およそ宿泊拒否をする対象者に対する対応を取っていない。また、被告■■■■は原告の元を一旦離れた後に、原告から為された被告スタッフに対する指示に基づき、原告の元に戻って会話をしたにすぎず、原告へ積極的に働きかけていない。被告ホテルは被告■■■■と原告とのトラブルの発生後も、原告と原告の妻に対する飲食の提供を続けたし、原告に対し、ポイントの返却処理を行っている。

ウ これらは宿泊拒否というホテルとして強硬な対応を取ったこととは全く相容れない内容であり、被告ホテルが宿泊拒否をしていないことは明らかである。すなわち、宿泊拒否の要件である、宿泊施設が当該意思に反して、宿泊を拒否する旨の意思の表明を行うという要件②を満たしていない。

(3) 原告自らが帰宅する旨述べた点について(宿泊者の宿泊意思の不存ないし宿泊申込みの撤回)

原告が帰宅する旨述べた部分は、録画として原告から提供されていないものの、被告■■■■及びロイヤリティーマネージャーが対応した際に、原告が自ら帰る(宿泊しない)と述べたことは事実である。

原告が隣の客とトラブルになったことから、食事時間を延ばす延長することを約束しつつ、一旦離席することを促した被告[REDACTED]に対し、原告は「絶対に移動しません。」と述べた（乙5の1 5頁22行～6頁4行目）。また、被告[REDACTED]が「お掛けになっていただいて。」とソファへの着席を勧めたことに対し、「嫌です。」「座りません。私は自分が何をするかを私が決めるので。」「あなたの指示命令には従いません。」と語気強く述べた（乙5の2 1頁10行目～20行目）。こうした原告が、仮に被告[REDACTED]が宿泊拒否をしたのであれば、易々と受け入れたはずはない。

また、被告[REDACTED]が、原告に対し「泊まらないことなんで」と述べたことに対し、原告は単に「うん」と述べている部分がある（乙5の2 10頁27～31行目）。これも原告自らが帰宅する旨述べたからこそなされた会話であると考えるのが自然である。

原告自らが帰宅すると述べ、原告の宿泊意思が不存在である（ないし、宿泊申し込みの撤回が行われた）ことは提出された録画における会話全体から推認される。すなわち、「宿泊者に宿泊意思がある」という宿泊拒否の要件①も欠いている。

3 本件トラブルは原告のマスク不着用が理由ではない

原告は、本件がマスク不着用に基づく宿泊拒否であると主張する。

しかし、答弁書で述べたとおり、本件のトラブルは原告のマスク不着用が理由ではない。

原告は、原告の妻と共に、マスク不着用のままチェックインをしており（乙6 フロント防犯カメラ報告書）、マスク不着用が、被告ホテルにおいて宿泊拒否の原因となっていないことは明白である。

さらに原告は、被告[REDACTED]が「ホテルのルールを守らない場合には警察を呼ぶことになる。」旨述べたことに関して、被告[REDACTED]に対

1 過去マスクを着用していた事実

原告は、録画において、「マスクは着用しません。」「え、マスクどこでも着けないからです。私。もともとマスク着けていないです。」(乙5の3 1頁20～34行目)と述べている。

しかし、原告はYouTubeやTwitterに自らアップロードしていたところから伺える範囲に限定しても、マスクを着用していた時期があった。原告はフィットネスクラブにおいてトレーニングをする際に、マスクを着用していた。また、本件トラブルの約9か月前である令和3(2021)年12月6日にアップロードされたYouTube動画において、原告はマスクを着用していた(乙7 原告の言動に関する報告書写真①および写真②)。

原告は、コロナウイルスの感染対策としてマスクを着用していたが、ある時点で、マスクの着用を取りやめるようになったといえる。

2 原告のマスク着用に関する言動

(1) 裁判所における言動(乙7 写真③及び④)

令和4(2022)年10月19日のTwitterにおいては裁判所でのマスク着用に関する投稿を行った。原告が東京地方裁判所の法廷において、書記官から「マスクお持ちですか。」等と言われたことに対して無視をした上、「は？私語やめてもらっていいですか？」「は？何を持っているか答える筋合いないよね？」等と述べたことをツイート(投稿)した。

また、「裁判官からマスクは餅かどうか聞かれてもはやお子ちゃまと話しする感じ」と投稿した。なお、「マスクは餅かどうか」というのは、「マスクはおもちですか(お持ちですか)。」との発言を揶揄した表現である。

(2) 暴言(乙7 写真⑤ないし⑦)

原告は、マスク着用している人に関し、インターネット上で批判を繰り返してきた。一例を挙げると、施設利用時にマスク着用を求めるフィットネスクラブに対し、「着けるわけないだろドアホうが。頭わき散らしているのか。」と批判したり、「顔パンツなんか着けるのはお前みたいなマニュアル通りの低賃金労働しかできない言いなりの奴隷だけよ。」などとツイート（投稿）したりしていた。

また、マスク着用が個人の判断になることに関連して、テレビタレントが「基礎疾患のある方のことを考えると判断が悩ましい。」旨述べたことに対し、「黙れ！！生きる資格のない人間のクズ！！」とツイート（投稿）した。

3 原告の反マスク訴訟及び寄附募集

(1) 本件トラブルの原告による公表（乙7 写真⑧）

原告は本件訴訟の提起前に、被告■■■■■の個人名を秘匿することもなく、被告ホテルに対する書面をインターネット上で公開した。

現在も訴訟関連書類を事務所ホームページにアップロードし、YouTubeにおいて動画配信も行っている。

(2) 本件以外の訴訟の提起および寄附募集（乙7 写真⑨ないし⑫）

原告は、本件訴訟以外に、反マスク訴訟として、令和5（2023）年2月、JAL（日本航空）を被告とする訴訟（東京地方裁判所民事49部 令和5年（ワ）第3283号）と、国に対する訴訟（東京地方裁判所民事2部 令和5年（行ウ）第119号）を提起した。

原告は、本件訴訟をはじめとした反マスク訴訟の提起に伴い、寄附（クラウドファンディング）をTwitterやYouTubeで募った上、自らの事務所のホームページでも寄附について宣伝し、200万円以上を集めたと述べている。

なお、国に対する訴訟は、令和5（2023）年4月13日、却下

判決が下され、終了した。

4 小括

本件訴訟は、原告の反マスク活動の中で行われているものであるといえる。

第3 まとめ

原告が引用していたブログ（甲17 なお、現段階に至っても正式な提出はなされていない。）に記載されているように、過去、クラブラウンジは、チェックインにも利用されていたことがあった。チェックインに利用されていたということは、つまり、外部からのアクセスが可能であることを意味し、利用資格のない者も立ち入ることがあるため、被告ホテルは部屋番号を聞くことでクラブラウンジの利用資格を確認している。チェックイン時は宿泊客には部屋のカードキーをキーホルダーと共に渡すこととなっており、キーホルダーを見れば、部屋番号を容易に確認することができる（乙3 写真撮影報告書）。

本件のトラブルはマスクの不着用が原因ではない。原告が、被告スタッフの問いかけに応答しなかったため、クラブラウンジの利用資格の有無が確認できず、被告■■■■■が対応することとなり、原告の言動により本件トラブルに発展したのである。本来、被告■■■■■はデューティーマネージャー及び夜間支配人として、1階フロント付近に常駐し、警備を中心に、ホテル内で発生する様々な事案に相談対応するのが主な業務である。実際、当日も本件の直前まで1階付近にいた（乙6 フロント防犯カメラ報告書・写真③）。17階のクラブラウンジに赴くこととなったのは、原告が本件スタッフを無視し、クラブラウンジの利用資格の有無が問題となっていたからにほかならない。

以上から、本件トラブルは、原告が主張するように、被告ホテルがマ

スク不着用を理由に宿泊拒否をしたことに起因するものではなく、原告の本件訴訟には理由がない。

以上

令和4年（ワ）第30623号損害賠償請求事件


原告 桜井康統

被告 株式会社三田ホールディング 外1名



証拠説明書 2


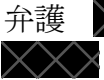




令和5（2023）年5月15日

東京地方裁判所民事第43部合議B6係 御中

被告ら訴訟代理人弁護士 

同 

乙号証	標目	原本写の別写し	作成日	作成者	立証趣旨
乙4の1	録画	写し	R4.9.29	原告	原告が本件に際し、撮影した録画。ファイル名は「IMG_8291.MOV」とされていたもの。原告が、本件クラブラウンジ内で被  と会話しているときに撮影されたものである。 なお、本録画は時間的には乙4の2及び同3よりも前のものであるが、原告からは後から提出された。
乙4の2	録画	写し	R4.9.29	原告	原告が本件に際し、撮影した録画。ファイル名は「IMG_8292.MOV」とされていたもの。原告が、本件クラブラウンジ外で被  と会話しているときに撮影されたものである。

乙 4 の 3	録画	写し	R4.9.29	原告	原告が本件に際し、撮影した録画。ファイル名は「IMG_8293.MOV」とされていたもの。原告が、本件クラブラウンジ外でロイヤリティマネージャー及び被  と会話しているときに撮影されたものである。
乙 5 の 1	反訳	写し	R5.5.9	被告ら訴訟代理人 弁護士 	録画（乙4の1）の反訳。被告らは宿泊拒否をしていないこと。原告が隣のテーブルの客2名を会話に巻き込んだこと。なお、「●●」は聞き取りが困難な箇所である。
乙 5 の 2	反訳	写し	R5.5.9	被告ら訴訟代理人 弁護士 	録画（乙4の2）の反訳。被告らは宿泊拒否をしていないこと。なお、「●●」は聞き取りが困難な箇所である。
乙 5 の 3	反訳	写し	R5.5.9	被告ら訴訟代理人 弁護士 	録画（乙4の3）の反訳。被告らは宿泊拒否をしていないこと。なお、「●●」は聞き取りが困難な箇所である。
乙 6	フロント防犯カメラ報告書	写し	R5.5.15	被告ら訴訟代理人 弁護士 	原告がチェックインをする際にもマスクをしていないこと。被告らは宿泊拒否をしておらず、ましてやマスクをしていないことを理由とした宿泊拒否はしていないこと。
乙 7	原告の言動に関する報告書	写し	R5.5.15	被告ら訴訟代理人 弁護士 	原告の、マスク及び本件訴訟に関するインターネット上の言動に関する報告書。①原告は、本件発生の約9ヶ月前である令和3年12月まではマスクを着用していたこと、②原告がマスク着用に関し、批判を繰り返していたこと、③原告が本件訴訟その他反マスク訴訟を提起し、インターネット上で寄附を募っていること等。

【被告モハメド】

●●いらっしゃるんで。

【原告】

5 あと、さん。

【被告】

弁護士さんおしゃべりでしたらば、もしよかったらご一緒にしゃべります。

10 【原告】

さん、私に対して警察、さっき警察呼びますよって言ったの認めますね。

【被告】

15 私、さっき言った話は聞きました？

【原告】

警察いつ来るんですか。警察いつ来るんですか、質問に教えてください。

20 【被告】

今、答えません。他にお客さまはいらっしゃるんで、ご迷惑になりますんで。

【原告】

あ、じゃなくて、一つだけ。

25

【被告】

もしよかったら、ご一緒に話しますが。

【原告】

30 もしよくない。もしよくない。私は今、ここでお酒飲んでるんです、妻と。

【被告】

申し訳ございません。

35 【原告】

今日、妻の誕生日なんです。

【被告XXXXXXXXXX】

申し訳ございません、他にお客さまいらっしゃるから。

5

【原告】

警察呼びますって言いましたよね。いるからなんですか。じゃあ、他のお客さんに聞いてください。何か問題ありますか。

10 【隣の客A】

うるさい。うるさいです。

【隣の客B】

別の所で話したほうがいいと思います。

15

【原告】

警察、あ、さ、先ほど警察呼びますって言いましたよね。

【隣の客B】

20 ここじゃなくて。ここじゃなくて。

【被告XXXXXXXXXX】

申し訳ございません。

25 【隣の客B】

ここじゃなくて、別のところで話したほうがいいと思います。

【原告】

お兄さん、お兄さん、声大きいですよ。あなたの声のほうが大きいですよ。

30

【被告XXXXXXXXXX】

申し訳ございません●●しょうか。ちょっと、ちょっとすいません。

【原告】

35 警察呼びますって言いましたよね。

【隣の客 A】

その前に出てってください。

5 【原告】

声が大きいですよ。先ほど。

【隣の客 B】

別のところで。

10

【原告】

いやいや、先ほど声大きかったですよ。

【隣の客 B】

15 ●●おまえの声が大きいからだろ。

【原告】

おまえですか。おまえ？

20 【隣の客 B】

おまえだよ。

【原告】

え、ちょっと待ってください。おまえって言われる筋合いないんですが。

25

【被告 】

お客さま、すいません。少々お待ちください。ほんとに申し訳ございません。

【隣の客 B】

30 話し掛けんな、じゃあ●●

【隣の客 A】

いや、●●必要ないって。

35 【原告】

どちらが声大きいですか。

【被告XXXXXXXX】

そうです。あの一。

5

【隣の客 B】

話し掛けんな。

【被告XXXXXXXX】

10 そうです。それは、ほんとにお客さまに。

【原告】

どちらが声大きいですか。どちらが声大きいですか。

15

【隣の客 B】

話し掛けんな。

【被告XXXXXXXX】

ごめんなさい。ごめんなさい。

20

【原告】

今の問い掛けてないんですが、どちらが声大きいですか。

【隣の客 B】

25

話し掛けんな。

【被告XXXXXXXX】

申し訳ございません。

30

【原告】

え、注意してください。

【被告XXXXXXXX】

ほんとに失礼いたしました。

35

【隣の客 B】

いえいえ。

【原告】

5 注意してください。声大きいですよね。

【隣の客 B】

話し掛けしないで。巻き込まないで。

10 【被告XXXXXXXXXX】

ちょっと一緒に話しますか。あの、他のお客さまに。

【原告】

私が聞いているのは、警察呼びますよって言いましたよね。

15

【被告XXXXXXXXXX】

他のお客さまにご迷惑掛けるのは。

【原告】

20 警察、先ほど呼びますよって言いましたよね。警察いつ来るんですか。

【被告XXXXXXXXXX】

桜井様、ちょっと、ちょっと一緒に行きますか。

25 【原告】

どこに行くんですか。

【被告XXXXXXXXXX】

あちらに。

30

【原告】

私、今、ここで食事してるんですよ。なぜあなたに、つ。

【被告XXXXXXXXXX】

35 食事を延ばします。それは任せてください。ちょっと一緒に。少しだけ話しまし

ようか。

【原告】

いや、●●です。絶対に移動しません。

5

【被告●●●●】

あの一、レコードしてるのは、レコードしてるのは分かりますけれども。

【原告】

10 で、いや、私が聞いているのは、さっき警察呼びますよって言いましたよね。それ、それを認めないんですか。

【被告モハメド】

それは、それは、やり方はこちらで。ごめんなさい。

15

【原告】

え、警察呼びますよって言ったこと、認めないんですか。じゃあ認めないなら、認めないでいいんで。警察呼びますよって言ったことを認めないんですね。

20

【被告●●●●】

あの一、本日、本日アワードポイントでご予約いただいているんですけども、本日お帰りください。

【隣の客B】

25 日本語でしゃべれとか言ってただろ。

【原告】

警察呼びますっていうことを、ゆ、言いましたよね、先ほど。それは認めないんですか。

30

【被告●●●●】

本日お帰りください。ちょっと一緒に話しましょうか。

【原告】

35 宿泊拒否するってことですか。ここで答えてください。

【被告■■■■■】

他のお客さまにご迷惑掛けるから、●●一緒に話しましょうか。

5 【原告】

それ、あなたのせいですよ。あなたに来るからですよ、私のところに。あなたが
いなければ、そうってないです。

乙第5号証の2

【原告】

じゃあ●●けど、ここだったらいいんですね。じゃあ聞きますよ。

【】

5 レコード、レコードしてる？ どうぞお掛けになって。お掛けになってください。

【原告】

先ほど、警察呼びますって言いましたよね。

10 【】

お掛けになっていただいて。

【原告】

嫌です。座りません。私は、自分が何をするかを私が決めるので。

15

【】

もちろん。

【原告】

20 あなたの指示、命令には従いません。

【】

分かりましたけれども。

25 【原告】

何で私が立ったり座ったりとか、あなたの指示通りに動かないといけないんですか。私のほう見てください。

【】

30 じゃあ、こちらのルールでしたらば。

【原告】

私を見てください。

35 【】

ごめんなさい。あの、声を他にお客さまに。

【原告】

あなた、先ほど警察呼びますって言いましたよね。

5

【XXXXXXXXXX】

桜井様、本日。

【原告】

10 いや、来ないんですか。うそつくんですか。警察呼ぶって言いましたよね。警察いつ来るんですか。この質問に教えてください。私の目を見て教えてください。

【XXXXXXXXXX】

私は目、ずっと見てますから。

15

【原告】

あなたは私に、警察呼びますよって脅しましたよね。

【XXXXXXXXXX】

20 本日、本日。

【原告】

なぜ答えてくれないんですか。

25

【XXXXXXXXXX】

本日アワードご予約なんですけれども。

【原告】

違う。その質問をしません。警察呼ぶって言いましたよね。

30

【XXXXXXXXXX】

いや、私から言いますけれども。

【原告】

35 この話終わってから、その話してください。聞いてますか。

【XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。

5 【原告】

警察呼びますって言いましたよね。言いましたよね。

【XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。それは、こちらのルールなんです。

10

【原告】

ルールで警察呼びますって言いましたよね。

【XXXXXXXXXX】

15 ごめんなさい。手を、手をお願いします。

【原告】

この手を●●何ですか。

20 【XXXXXXXXXX】

この手を。

【原告】

手は何なんですか。

25

【XXXXXXXXXX】

この手を下ろしてください。

【原告】

30 下ろしたら何が起きるんですか。

【XXXXXXXXXX】

で。

35 【原告】

警察呼びますって言いましたよね。

【】

あの、いくらでも呼べる。いくらでも警察呼べますよ。こちら、ホテルなので。

5

【原告】

言いましたよね、警察呼びますよって。

【】

10 こちら、ホテルなのでね。

【原告】

警察、いつ来るんですか。

15

【】

いつでも。もし呼ぶとしたら。

【原告】

じゃ、呼んでくださいよ。

20

【】

呼ばない。

【原告】

25 あ、呼ばないんだ。

【】

呼びません。

30

【原告】

なぜ。

【】

なぜ？

35

【原告】

私に言いましたよね、警察呼びますよって。

【】

5 なぜ、言うと。

【原告】

呼ぶ、呼ぶつもりがなかったのにそう言うことは、脅しですよ。

10 【】

●●こちら、楽しみのご滞在●●ね。

【原告】

脅しですよ、そしたら。脅しのつもりで呼んだんですか、さっき。

15

【原告の妻】

警察をなぜ●●

【原告】

20 呼ぶ気はなかったのに、呼ぶ気はなかったのに警察呼びますよって言ったんですね。

【】

こちらのルールを、ごめんなさい、守らないと●●

25

【原告の妻】

でも●●呼ばないんです●●

【原告】

30 でも、警察呼んでないんですよ。

【】

ごめんなさい。あの一、そもそも、こちら大きい声でいくらでもしゃべってるので。

35

【原告】

警察、なぜ呼ばないんですか。大きいなんて、あなたの主観ですよ。あなたの声も大きいですよ。

5 【XXXXXXXXXX】

で、他のお客さまにご迷惑なので。

【原告】

それは不当なことを言われたからですよ、私が。

10

【XXXXXXXXXX】

こちら、うちの一つのクレームじゃなくて。

【原告の妻】

15 それは分かります●●

【XXXXXXXXXX】

で、なぜ警察呼ばないんですか。

20 【原告の妻】

●●

【原告】

逃げないでください。こっち向いてください。なぜ警察呼ばないんですか。

25

【XXXXXXXXXX】

警察●●警察呼んでほしい。

【原告】

30 よ、呼びなさいよ。

【原告】

この件で警察呼ぶなら、それがマリオット・インターナショナルの対応だっていうことで、私はこの件、大問題ですので、社会問題にしますよ。

35

【】

あの、ごめんなさい、ごめんなさい、それは。それは、ごめんなさい。

【原告】

5 呼べませんよね、この件で。

【】

この、ごめんなさい、あの。

10 【原告】

あなた、じゃあ脅しで言ったんですね。警察呼べないって分かっているながら、脅しで言ったんですね。

【】

15 ごめんなさい。ごめんなさい。あの、いくらでもマリオットを警察呼ぶのは、初めて、最初の最後じゃないんですよ。

【原告】

20 質問に答えてください。質問に答えてください。なぜ呼んでないんですか。でも、今回の件では呼べないですよ。誰も暴れてないから。

【】

いや、あの。

25 【原告】

警察呼ぶのは、暴れたりとかしたら呼べるけど。

【】

ルール、ルール、ルール守らないのは。

30

【原告】

さっきの程度で、警察を実際に呼んでないし、あなたが。でも、呼びますよって言いましたよね。認めてください。言いました？ 警察呼びますよって私に言いましたよね、先ほど。言っていないですか。どちらですか。答えてください。何も
35 答えられない。逃げるんですか。答えてください、私の質問に。私が聞きたいのは、

この1点だけです。警察呼びますよって言いましたね？ 無言ですか。答えれないんですか。なぜですか。脅しだからでしょ。呼んでないんですよ。そのあとあなたは警察に電話もしていない。ですよ。ですよ。うん、うんって、うなずいています？ はいって言ってください。呼んでませんよね。なぜ黙るんですか。表情見れば分かるけど。なぜ黙るんですか。答えてください。まだしゃべらない。

【XXXXXXXXXX】

こちらはチョウジョウと、こちらもチョウジョウ。

10

【原告】

うん？ 何を言ってるの、分からない。警察呼んでないんですよ。なぜ答えないの。モハメドさん、どうして答えられないの。

15

【原告の妻】

それは●●答えないっていうふうになってるのね。

【XXXXXXXXXX】

答えないわけではなくて、ごめんなさい。

20

【原告】

うそをつくの？ 私に。

【モハメド】

25

そういうわけではないけども。

【原告】

警察呼びますよって言いましたよね。でも、呼んでないんですよ。

30

【XXXXXXXXXX】

あの、録音してるんですよ。録音してます●●

【原告】

録音してます。はい。

35

【XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。今日はアワードでご予約で、クラブラウンジ。

【原告】

5 その話は、この話が終わったら聞きます。

【XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。クラブラウンジは先ほどの●●は、こちらからのサービスになりますけれども、お帰りください。

10

【原告】

違う。その話は。モハメドさん、モハメドさん、モハメドさん。それは、その後聞きますから、いくらでも。

15

【XXXXXXXXXX】

お帰りください。

【原告】

いくらでも話は聞くので。警察呼びますって言いましたよね。その点だけです、
20 私の質問は。その後全部、今日。

【XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。あの、ルールを守らないお客さまを。

25

【原告】

に対して、警察呼ぶって言ったんですよね。

【XXXXXXXXXX】

警察呼ぶはもちろん、え、呼べることは可能ですよ。

30

【原告】

いや、じゃなくて、呼びますよってさっき言ったじゃないですか。で、その後警察に電話してないですよね、モハメドさん。

35

【XXXXXXXXXX】

もちろんしない。

【原告】

じゃ、脅しじゃないですか、それ。僕に対する。

5

【XXXXXXXXXX】

ルールを守らないお客さまは、ほんとに。

【原告】

10 に、脅しをしたんですよね。脅したんですよね。

【XXXXXXXXXX】

でも、上の方とご相談したら。

15 【原告】

脅したんですよね。

【XXXXXXXXXX】

上の方とご相談したら。

20

【原告の妻】

警察呼べって。

【原告】

25 呼んでくださいよ。

【XXXXXXXXXX】

今日は、ごめんなさい、泊まらないことなんで。

30 【原告】

うん。

【XXXXXXXXXX】

35 ポイントをご返金いたしますけれども、今日はカクテルタイムとしてはサービスとして。

【原告】

で、警察、よ。僕が問題にしてんのは、そこじゃないんです。警察を呼びますよって言いましたよね。

5

【XXXXXXXXXX】

いや、あの、こちらの問題で、あの一。

【原告】

10 なぜ答えないんですか。

【XXXXXXXXXX】

すいません、あの、他のお客さまにご迷惑を掛けていたしまして。私たちの対応で●●

15

【原告】

なぜ答えないんですか。

【XXXXXXXXXX】

20 マスクをしないし。

【原告】

うん。

25

【XXXXXXXXXX】

マスクしないし、で、他のお客さまにご迷惑を掛けるので。

【原告】

だから、警察、マスクしないから警察呼ぼうとしたわけですよね。

30

【XXXXXXXXXX】

大きい声で、あの一。

【原告】

35 大きい声って、横の人「おまえ」って言ってましたよね、僕に。大きい声って、

あなたも大きい声だし、みんな大きい声で。

【XXXXXXXXXX】

5 ごめんなさい。ごめんなさい。ごめんなさい。ごめんなさい。聞いていただいてもよろしいでしょうか。聞いていただいてもよろしいでしょうか。

【原告】

そして●●私の話も全然●●

10 【XXXXXXXXXX】

他のお客さまもぶつかるのは、基本的には●●

【原告】

15 ぶつかるのって、あなたが私に対してしゃべり掛けてきてるから、他の人に迷惑●●だけでしょ。

【XXXXXXXXXX】

20 私は、私は、ごめんなさい、桜井様は最初からクラブラウンジを、まず部屋番号言えず。

【原告】

部屋番号分からないから。さっき下でチェックしたばかりですよ。でも、名前言って、調べてくださいって言いましたよね。

25 【XXXXXXXXXX】

あの、カードキー、カードキー。あの、それはさっきのゲストにおっしゃっていただいた。

【原告】

30 調べたら分かるじゃないですか。

【XXXXXXXXXX】

さっきの。さっき。

35 【原告】

部屋番号控えてない。

【XXXXXXXXXX】

さっきのスタッフにおっしゃっていただいた？

5

【原告の妻】

サクライって言いました。

【原告】

10 言いましたよ。

【XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。あの一、さっきのスタッフは名前も知らないし、部屋番号も知らないの、テーブルも。

15

【原告】

だから、あなたに答えましたよね。サクライです●●

【XXXXXXXXXX】

20 もちろん、もちろん。それは私が来てから。

【原告】

で、そんな話じゃなくて。

25

【XXXXXXXXXX】

来てから。

【原告】

警察呼びますよって言いましたよね。

30

【XXXXXXXXXX】

あの●●

【原告】

35 その、その1点だけです。私、これ聞くまで帰りません。

【XXXXXXXXXX】

また、また。

5 【原告の妻】

それは上の方に聞かれたんですか。

【XXXXXXXXXX】

ここにいない。いないですよ。

10

【原告】

言えないって●●

【XXXXXXXXXX】

15 レコードしてるんだったら。

【原告】

あ、じゃ、レコードオフにしたらいい。

乙第5号証の3

【ロイヤリティーマネージャー】

今の、こう、お話を聞いてますと、まずいらっしゃったときお部屋番号聞いたとこ、お部屋番号を教えてください●●

5 【原告】

だって、わ、分からない。下でチェックインしたばかりなんで。

【ロイヤリティーマネージャー】

はい。で、それで、じゃ、お名前●●

10

【原告】

名前を言って、名前言って調べてくださいって言いましたよ。

【原告の妻】

15 サクライヤスノリって、でも、言いました。

【ロイヤリティーマネージャー】

はい。で、それで、あの、マスクのことを言ったら、マスクは着用しないと●●

20 【原告】

はい。マスクは着用しません。はい。

【ロイヤリティーマネージャー】

それは、どう、ど。な、あの、なぜでしょうか。

25

【原告】

え、マスクどこでも着けないからです、私。もともとマスク着けてないです。

【原告の妻】

30 でも、そのマスクも。マスクを●●マスク着けない病なので、彼は。そういう病気だと●●

【原告】

どこでも着けてないです。単純に。

35

【原告の妻】

じゃあ、その病気の人にはもう泊まれないんだったら、もう宿泊拒否って言ってくださればよかったんですけど。

5 【原告】

で、宿泊拒否するんですかって聞いたら、答えずに。宿泊拒否するのかどうかを聞いているんですよ。

【被告XXXXXXXXXX】

10 それはお客さま、あの、あの、初めてのケースじゃないんで、もし事前に教えていただけると●●

【原告】

宿泊拒否するのかどうかを聞いたら、回答しないまま。

15

【原告の妻】

●●事前のは、ちょっとよく分かんない●●

【原告】

20 回答しないまま、警察呼びますよって言ったんですよ。

【原告の妻】

そういう病気の人には泊まれませんと言われたんだったら●●

25 【被告XXXXXXXXXX】

それは、あの一。

【原告】

30 そう。だから、宿泊拒否っていうのはホテル側から明確に言わないと。宿泊拒否するっていうことを。そしたら、僕はそれを法的問題にするかどうかを、この後検討するんで。

【被告XXXXXXXXXX】

あの、アレルギーの●●そういうふうに●●マスク着けてって。

35

【ロイヤリティーマネージャー】

あの一。

【原告】

5 ばらばらにしゃべらないでください。

【被告XXXXXXXXXX】

●●ないんでなんだから、あの一、そういう情報をまずいただきませんと。いただかなかったし。

10

【原告】

私にしゃべっていただけます？

【被告XXXXXXXXXX】

15 それはもちろん、今お話ししてるんですよ

【原告】

今、第三者を入れたいって言ったのは、警察呼びますよって言ったことについて全く答えてくれないんで。言いましたよね、警察呼びますよって、私に。

20

【被告XXXXXXXXXX】

あの、誰でも、どんなお客さまでも、ルール守らないときは警察呼ぶのは可能なんですよ。

25

【原告】

うん。可能なのは、わか、分かりました。

【被告XXXXXXXXXX】

はい。

30

【原告】

で、警察呼びますよって言いましたよね。

【被告XXXXXXXXXX】

35 ルール守らないとしたら、もう警察呼びますよ。

【原告】

私が、じゃあルール守らないから、警察呼びますよって言いましたよね。

5 【被告XXXXXXXXXX】

ルール守らない場合としたらば、警察呼ぶんですよ。

【原告】

うん。呼ぶんですよじゃなくて、呼びますよって言いましたよね。

10

【被告XXXXXXXXXX】

でも、呼んでない。

【原告】

15 でも、呼んでないってことは、もう。まあ、ま、半ば認めたから今のでいいですけど。で、呼んでないじゃないですか。

【被告XXXXXXXXXX】

ごめんなさい、ごめんなさい。あの、こちらが。

20

【原告】

で、僕は呼んでくださいって言ってるんですよ。

【被告XXXXXXXXXX】

25 こちらから●●壊したくないんですよ。

【原告】

呼ばないんだったら脅しじゃないですか。

30 【被告XXXXXXXXXX】

せっかくのご滞在で、おもてなしするのは目標なんですけれども。

【原告】

35 違う、違う。私が、私が。ま、私、弁護士なんですけど、弁護士じゃない一般市民だったとしたら、警察呼びますよって言われたらびっくりしますよね。それを

脅して使ったとしてね。

【被告XXXXXXXXXX】

そちらこそびっくりしました。そちらこそびっくりしました。

5

【原告】

私はびっくりしないですよ。法律の専門家なんで。

【被告XXXXXXXXXX】

10 ごめんなさい、ごめんなさい。私も初めての、このデューティーマネージャー、支配人の仕事ではないので。部屋番号、まずお客さまに教えてくださいって言ったら。

【原告】

15 だから、サクライヤスノリですって言いましたよね。

【被告XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。あの、最初から全然、まず名刺を頂いてないし、一言でも●●

20 【原告】

名刺なんて渡さないですよ。

【被告XXXXXXXXXX】

私も話。

25

【原告】

舌打ちですか。何回もさっきからしてますけど●●

【被告XXXXXXXXXX】

30 私の話、無視されたし、他にスタッフも。わ、そのために私のこと呼んだのは無視されたし。ごめんなさい●●桜井様を。

【原告】

うん。話し合うことがないからね。

35

【被告XXXXXXXXXX】

最初から桜井様を、あの一、●●であれば。答えるのであれば。

【原告】

5 舌打ちですか、今の。その口のね、くせ、やめたほうがいいですよ。接客だから。くせなのかもしれないけど。

【被告XXXXXXXXXX】

その後は。

10

【ロイヤリティーマネージャー】

ちょっとだけ、あの、声を●●にして。こちらでちょっとお掛けになりますか。

【被告XXXXXXXXXX】

15 どうぞお掛けになってください。どうぞ。

【原告】

まあ、今。

20

【被告XXXXXXXXXX】

少し、あの一、少し。

【原告】

まあ、だから、もう一回最後に聞きます。警察呼びますよって言いましたよね。

25

【被告XXXXXXXXXX】

あの一、ごめん●●それは、ごめんね。ちょっと一緒に。

【原告】

30 その、ごめんねの意味が分からない。

【被告XXXXXXXXXX】

あの、男なので、ちょっと一緒にいいですか。

35

【原告】

男？ 男と女って関係あるんですか。ジェンダーの問題が、今。

【被告XXXXXXXXXX】

なんか。

5

【原告】

どこ見てしゃべってるんですか。私の質問に。一つだけです、私の質問は。

【被告XXXXXXXXXX】

10 うん。

【原告】

警察呼びますよって言いましたよね。

15 【被告XXXXXXXXXX】

どんなお客さまでも守るルールを守らないときは。

【原告】

なぜそこで、はいと言えないんですか。

20

【被告XXXXXXXXXX】

弁護士●●なんで。

【原告】

25 うん。弁護士ですよ。

【被告XXXXXXXXXX】

そうです。

30 【原告】

これを、●●裁判にしようかなと考えてるので。あなたの件で。

【被告XXXXXXXXXX】

私も、あの一、支配人ですので。はい。

35

【原告】

うん。そんな簡単な問題じゃないんで、今回の件は。私はマスクをしてなかっただけ。それでずっと横にへばりつかれて。

5 【被告XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。あの一。

【原告】

警察呼びますよって言われたのは、これは事実ですから。

10

【被告XXXXXXXXXX】

ごめんなさい。あの一、時間もございますので。

【原告】

15 うん。

【被告XXXXXXXXXX】

お帰りは何時ごろになりますでしょうか。

20 【原告】

うん。だから、最後にもう一回聞きますね。警察呼びますよって言いましたよね。

【被告XXXXXXXXXX】

お帰りは何時ごろになりますでしょうか。

25

【原告】

今後これを、答えを聞いたら帰りますよ。警察呼ぶって言いましたよね。

【被告XXXXXXXXXX】

30 お帰り、お帰り、何時ごろになりますでしょうか。

【原告】

マスクを着けないお客さんを見つけて、あなたは席の横に張り付いて。

35 【被告XXXXXXXXXX】

うん。

【原告】

その揚げ句、警察呼びますって言いましたよね。

5

【被告XXXXXXXXXX】

お帰り、何時ごろになりますでしょうか。

【原告】

10 で、それを私が何回聞いても、このような回答に終始した。

【被告XXXXXXXXXX】

お荷物は上にありますか。

15 【原告】

そのような対応に終始したわけですね。

【被告XXXXXXXXXX】

ないですか。では、上、あの、カードキー。

20

【原告】

結局、回答もしないまま、このような対応に終始した。

【被告XXXXXXXXXX】

25 カードキーお願いしてもいいですか。お部屋のカードキーお願いしてもいいですか。

乙第6号証

令和4年（ワ）第30623号損害賠償請求事件

原告 桜井康統

被告 株式会社三田ホールディングス

フロント防犯カメラ報告書

令和5（2023）年5月15日

東京地方裁判所民事第43部合B6係 御中

被告ら訴訟代理人弁護士

同

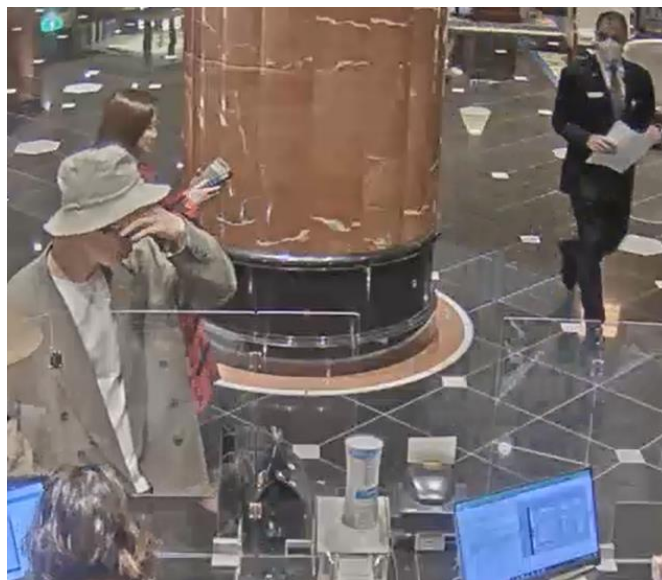
原告が被告ホテルにチェックインをした様子について、フロントの防犯カメラ映像を元に、次のとおり報告します。

写真①



令和4（2022）年9月29日午後6時05分ころ、被告ホテルに1階フロントでチェックインする原告。マスクは着用していない。

写真②



令和4（2022）年9月29日午後6時05分ころ、被告ホテルに1階フロントでチェックインする原告及び原告の妻。

原告がチェックインする近くを、被告モハメドが通りかかっている。

乙第7号証

令和4年（ワ）第30623号 損害賠償請求事件

原告 桜井康統

被告 株式会社三田ホールディング 外1名

原告の言動に関する報告書

令和5（2023）年5月15日

東京地方裁判所民事第43部合B6係 御中

被告ら訴訟代理人 弁護士

弁護士

本報告書は、原告の、本件訴訟及びマスクに関する言動に関し、原告のインターネット（Twitter、YouTube、事務所ホームページ）からまとめたものである。

- 1 原告は令和3（2021）年12月頃までマスクを着用していたこと
写真①及び写真②
- 2 原告の反マスクの言動（マスク着用批判）
写真③ないし写真⑦
- 3 原告が本件訴訟その他反マスク関連訴訟についてインターネット上に公表し、寄付を募っていること
写真⑧ないし写真⑫

写真①



桜井ヤスノリ筋肉弁護士vsウェスティン東京&JAL?
@Sakuprotein

皆さん、土曜の夕方は筋トレしてますか？



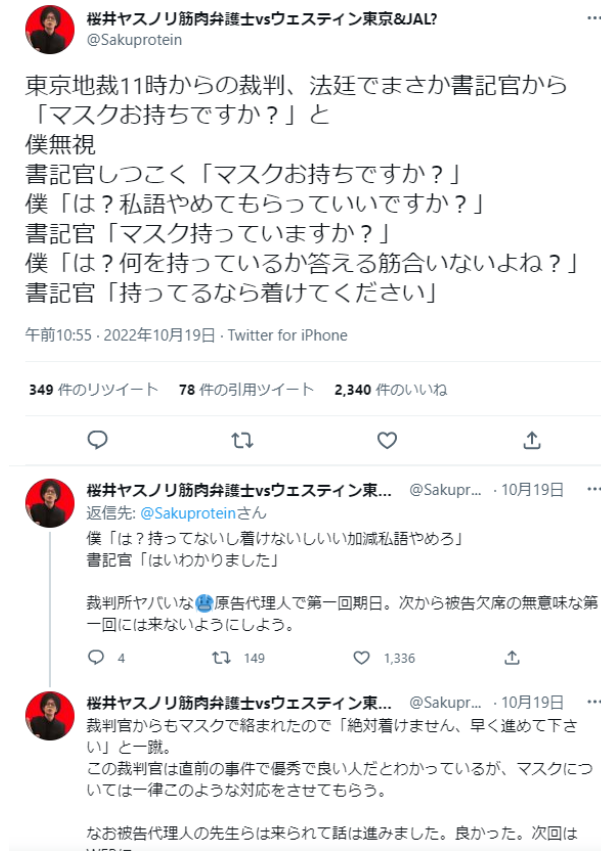
原告の Twitter。原告は、令和 3（2021）年、フィットネスクラブ
内でマスクをしてトレーニングしていた。

写真②



原告の YouTube チャンネルからの写真である。令和 3（2021年）1
2月6日にアップロードされた動画であり、少なくとも、この時点までは、
原告はマスクを着用していたことが分かる。

写真③



令和4（2022）年10月19日の原告のTwitter。

原告が東京地方裁判所の法廷において、書記官から「マスクお持ちですか。」等と言われたことに対し、「は？私語やめてもらっていいですか？」 「は？何を持っているか答える筋合いないよね？」等と述べたことを投稿（ツイート）した。

写真④



原告の Twitter。裁判官から「マスクはお持ちですか。」と聞かれた際の心情を「お子ちゃまと話しする感じ」とツイート（投稿）した。なお、「マスクは餅かどうか」というのは、「マスクはおもちですか(お持ちですか)。」との発言を揶揄した表現である。

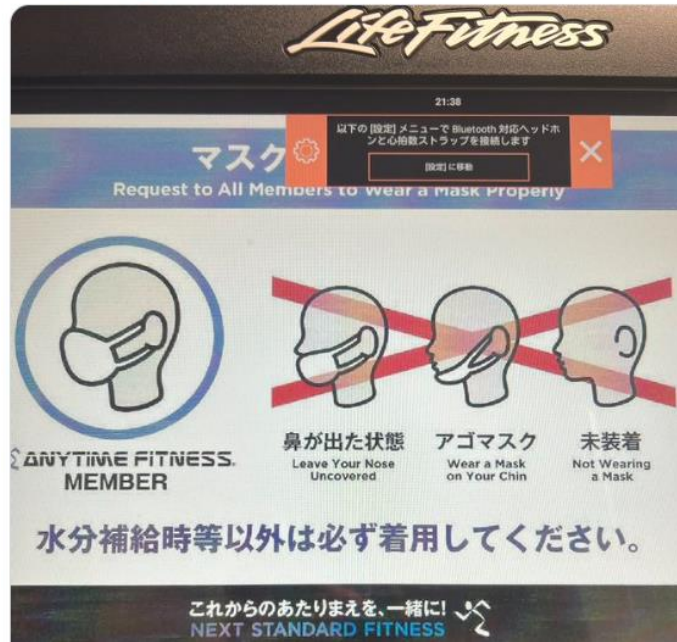
写真⑤



桜井ヤスノリ筋肉弁護士vsウェスティン東京&JAL?
@Sakuprotein

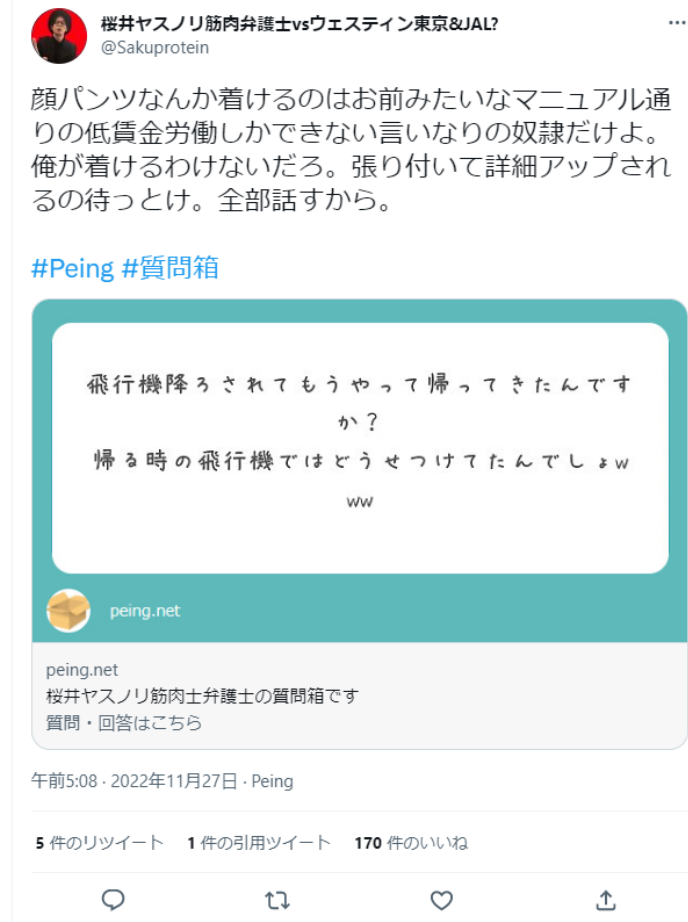
着けるわけないだろドアホうが。頭わき散らしてるのかエニタイム顔うんこパンツ変態コスプレフィットネスよ🤢

@Anytime_japan



原告の Twitter。施設利用時にマスク着用を求めるフィットネスクラブ（エニタイムジャパン）に対し、「頭わき散らしてるのか」等、原告は Twitter 上で批判した。

写真⑥



原告の Twitter。原告は、「顔パンツなんか着けるのはおまえみたいなマニュアル通りの低賃金しかできない言いなりの奴隷だけよ。」と「俺が着けるわけないだろ。」とツイート（投稿）していた。なお、「顔パンツ」とはマスクを意味する。

写真⑦



原告の Twitter。マスク着用が個人の判断に任されることになったことに関し、タレントが「基礎疾患がある方のことも考えると判断は難しい。」とテレビでコメントしたことに対し、原告は「黙れ！！生きる資格のない人間のクズ！！」「黙れクソ野郎！！ふざけるな」とツイート（投稿）した。

写真⑧

ウェスティンホテル東 法廷で戦います



フォロー

桜井ヤスノリ筋肉弁護士vsウェスティン東京&JAL?

@Sakuprotein

妻の誕生日&結婚記念日にウェスティンホテル東京からノーマスク宿泊拒否されたので提訴する筋肉弁護士(二弁所属)👊マスク強制という人権侵害を終わらせる👊都好き🇯🇵🇺🇦フォローもRTもご自由にinstagram.com/sakurai_suits...

👤 弁護士・法律事務所 (404 Not Found)

📍 m.youtube.com/channel/UCZr_3... 📅 誕生日: 3月21日

📅 2019年1月からTwitterを利用しています

679 フォロワー中 6,532 フォロワー

ツイート

ツイートと返信

メディア

いいね

固定されたツイート



桜井ヤスノリ筋肉弁護士vsウェスティン東京... @Sakupro... · 9月30日

ノーマスク宿泊拒否したウェスティンホテル東京に謝罪を求める書面を送りました。回答を待ちます。

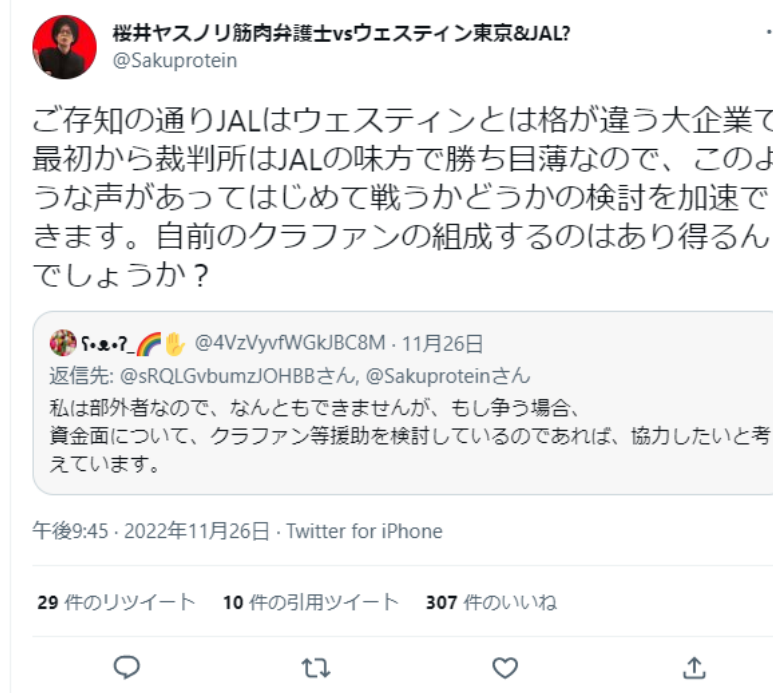
電話 03-6457-8881
FAX 03-6457-8882
弁護士 桜井康統

前略
1 マリオットグループとの関係
私はマリオットグループのホテルが好きでマリオットボグオイ(会員番号[REDACTED])のプラチナエリートとして、アグリ士今年の宿泊回数として表示される数字は29と、また、米連邦ではあるものの昨年もそれなりにマリオットグループのホテルに宿泊させていただいております。どの旅も記憶に残る素晴らしい経験をおさせていただいております。

2 ホテルでのマスクの着用を拒否されたこと
いずれにしても当日が妻の誕生日記念日ということでは把握できていたかと思われまふ。
さて、ホテルに到着したのが18時12分頃、チェックインを済ませてクラブラウンジに向かいました。クラブラウンジの受付にはスタッフがいませんでしたのでそのまま中に入ると電話がかかってきました(18:16着信)。クラブラウンジ入口まで戻り電に出ると、さきほどチェックインを担当してくれ女性からでした。私が呼ぶ・クラスを何時から予約していたか忘れたので時間を確認してほしいと頼ん

原告の Twitter。原告が、自身の Twitter 上で、被告ホテルとの訴訟についてコメントし、注目を集めようとしていたこと。また、Twitter 上で、被告モハメドの氏名をマスクングせずに公表していた。

写真⑨



原告の Twitter。原告は、日本航空（JAL）との訴訟にあたり、クラウドファンディングを立ち上げ、広く寄付を募った。

写真⑩



原告の所属事務所のホームページの表紙部分である。

写真⑪



原告は、自身の所属事務所のホームページにおいても本件訴訟のほか、国に対する違憲確認訴訟、日本航空（JAL）に対する損害賠償訴訟という3つの反マスク訴訟について訴状等の訴訟資料を公開し、寄付を募っている。

写真⑫



原告の Twitter。原告は、寄附により 208 万 2596 円を集めた旨、ツイート（投稿）していた。